



市議会だより

# みやま<sup>ん</sup>ギカイ

No.77 令和8(2026)年5月1日発行 令和8年1月臨時会・3月定例会の内容などをお伝えします。

みやま市出身映画監督

小田<sup>おだ</sup>

憲和<sup>のりかず</sup>さん

## CONTENTS

- P2~3 3月定例会の概要等
- P4~5 予算審査特別委員会報告
- P6 1月臨時会の概要等
- P7~10 一般質問
- P11~14 委員会の報告など
- P15 表紙のひとなど
- P16 聞かせて!あなたの夢

# こんなことが決まりました

—— 定例第1回市議会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——

## 一般会計

2億8627万9千円を追加し  
総額 253億3108万8千円

## 特別会計

国民健康保険事業  
5298万6千円を減額し  
総額 52億6844万8千円

介護保険事業(介護保険事業勘定)  
1億5162万2千円を追加し  
総額 53億6603万2千円

## 企業会計

水道事業(資本的収入)  
1904万2千円を追加し  
総額 2億2094万3千円

## ◆令和7年度 補正予算◆

定例第1回市議会では、令和8年度当初予算  
など議案26件、同意1件、承認1件および発議  
1件を審議し、全て可決、同意、承認しました。

会期 2月27日～3月19日(21日間)

## 定例第1回市議会

詳しくはこちら↓



## 一般会計補正予算 歳出の主なもの

### 教育施設大規模改修事業

8400万円

高田中学校外壁工事費およびまいピア高田大規模改修工事費の不足額分を追加するものです。

○高田中学校大規模改修工事費

6700万円(外壁改修工事等)

○まいピア高田大規模改修工事費

1700万円(舞台関連設備更新等)

### 保育所運営委託料・施設型給付費

1億679万円

公定価格の改定増に伴い、保育所運営委託料および施設型給付費を追加するものです。

### 予約制乗合バス購入事業

822万円

みやまスマートエネルギー株式会社からの寄附金を活用し、予約制乗合バス車両2台を購入するものです。

### 減債基金積立金

1億円

将来の健全な財政運営を図るため、市債償還金の財源を確保するよう基金積立を行うものです。

## 重点支援地方交付金関連予算

1523万円

- 社会福祉施設等物価高騰対策事業 444万円
- 保育所等物価高騰対策事業 110万円
- 子育て施設給食等支援事業 968万円

※詳細はこちらからご確認下さい。↓



## 条例制定・改正の主なもの

### みやま市部設置条例の一部を改正する条例の制定

行政機構の見直しに伴い、市民へ提供する窓口サービスの利便性向上および効率化を図るワンストップ窓口の更なる推進のため、保健福祉部に設置している健康づくり課を市民部に移管し、それに伴い保健福祉部の名称を介護福祉部に変更するものです。

### みやま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

本市における国民健康保険の給付費等により福岡県が算定した、令和8年度の国民健康保険事業費納付金・標準保険料率本算定結果通知に基づき、国民健康保険税の必要額を課するための税額の算定にかかる税率などを改正するものです。

### 使用料・手数料等の見直しに関する基本方針に基づく使用料関係条例の整理に関する条例の制定

「使用料・手数料等の見直しに関する基本方針」に基づき、使用料に関係する条例について規定を整理する必要があるため、条例を改正するものです。

### みやま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国家戦略特別区域に限り認められていた地域限定保育士制度が一般制度化されたため、関係する条例を改正するものです。

### みやま市宿泊施設の誘致に関する条例の一部を改正する条例の制定

宿泊施設の設置事業者に対する指定要件の緩和等を行い、市内における宿泊施設の誘致を促進するため、所要の改正を行うものです。

### みやま市過疎地域持続的発展計画の策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条の規定に基づき、新たにみやま市過疎地域持続的発展計画を策定したため、議会の議決を求めるものです。

## 人事

### 公平委員会委員



あざやま かずお  
浅山 和生 さん  
(瀬高町)

●公平委員とは  
中立的かつ専門的な人事機関として、「任命権者の任命権行使をチェックする」という役割を持っています。

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



# 令和8年度 一般会計当初予算 226億4300万円を可決

予算審査  
特別委員会

## 暮らしやすく、 住み続けたいと思える選ばれるまちを!

### 当初予算の審査

令和8年度当初予算審査にあたり、みやま市一般会計予算、4件の特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算の全7議案が予算審査特別委員会に付託されました。

議員全員で構成する全体の委員会と各常任委員会を構成する分科会を設置し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。

審査の日程は、全体会議が3月2日・6日・16日の3日間、分科会は3月10日・11日・12日の3日間です。

全体会議では、みやま市の全会計予算についての審査を行い、分科会では、各常任委員会の所管に属する予算について審査を行いました。

会計名		総額	前年比増減率
一般会計		226億4300万円	2.6%増
特別会計	国民健康保険事業	50億2331万円	5.6%減
	後期高齢者医療	9億3678万円	10.5%増
	介護保険事業	52億3518万円	0.8%増
	用地	3千円	0.0%
	小計	111億9528万円	1.4%減
合計		338億3828万円	1.2%増

企業会計	収益的収支 事業の管理・運営に関する収支		資本的収支 施設の建設・改良に関する収支	
	会計名	収入額	支出額	収入額
水道事業会計	5億2218万円	4億9505万円	2億745万円	4億7993万円
下水道事業会計	7億4546万円	7億3712万円	6億6553万円	8億826万円

用地特別会計を除き千円以下を切り捨てて表記していますので合計の金額は一致しません。

# 議会からの指摘事項

## 全体的事項

- 予算執行に当たっては、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努力すること
- 税の徴収については、徴収率の向上に努めること
- 公共施設の活用に関しては、所管の枠にとらわれることなく、市全体での有効活用を努めること
- 予算の積算にあたっては、明確な根拠を示すとともに、執行については十分精査するよう努めること

## 一般会計

- 地域公共交通については、予約制乗合バス運行の検証を十分に行い、さらに市民の利便性向上につながるよう交通体系の構築を行うこと
- 移住定住については、関係部署と連携を図りながら、更なる定住促進に努めること
- ふるさと納税については、外部団体と協力しながら、多様な新規返礼品の開拓を図るな



予約制乗合バス  
「のーとみやま」

ど、企業版ふるさと納税も含めて大いに推進し、自主財源の確保に努めること

## 【福祉・医療・教育】

- 放課後児童クラブ運営委託料については、子育て支援の観点からも、安全安心な保育環境の充実のため、必要な経費の確保に努めること
- 子ども医療費支給事業費については、子育て支援充実のため、更なる拡充に努めること
- 給食助成事業費については、子育て支援や移住定住促進の観点からも、財政状況を精査し、更なる保護者の負担軽減に努めること

- 適応指導教育費については、適応指導教室の充実に努めること。あわせて不登校にならないための対策にも更に取り組むこと

## 【環境衛生・農林水産・商工】

- 塵芥処理に関する委託事業は、最小の経費で最大の効果を挙げるように努めること
- 有害鳥獣駆除対策については、被害の減少に向けた取り組み強化を図ること
- 商工業振興については、市の魅力を十分にPRできるような催しに努めること

## 【建設・都市計画】

- 狭あい道路・通学路等の状況



まることみやま市民まつり

を把握し、その改善に向けて努力すること

- 空き家対策については、更なる取り組みを進めること

## 特別会計

### 【介護保険事業】

- 安心生活見守り支援事業委託料については、市民並びに関係者への周知・啓発に努めること

## 企業会計

### 【水道事業】

- 漏水調査に努めるとともに、老朽化した水道管の更新を計画的に進めること

予算審査特別委員会では、以上の指摘事項等が行政施策に反映され、予算が適正に執行されるよう、執行部に要請したうえで、令和8年度「一般会計」「特別会計」および「水道事業会計」「下水道事業会計」の予算7件はいずれも可決すべきものと決しました。

# 物価高騰支援事業を可決

—— 1月の臨時会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——

## 臨時第1回市議会

会期 1月19日(1日間)



臨時第1回市議会では、主に物価高の影響が長期化する中、国の施策に基づく市民への支援として提案された令和7年度一般会計補正予算などの議案2件と承認1件を審議し、全て可決、承認しました。  
令和7年度の一般会計は、4億5744万円を追加し、総額250億4480万9千円となります。

### 一般会計補正予算歳出の主なもの

#### 物価高対応子育て応援手当

9466万円

物価高の影響を受けている子育て世帯を力強く支援し、子どもたちの健やかな成長を応援するための手当を支給するものです。

- 対象児童 18歳以下の児童 約4600人  
(令和8年3月31日時点で18歳に達する児童)
- 支給対象者 児童手当支給対象児童を養育する父母等
- 支給額 子ども1人あたり2万円
- 申請方法 原則、申請は不要
- 支給方法 児童手当受給口座または指定口座に振込み
- 支給時期 令和8年2月下旬以降、順次支給
- 予算額合計 9466万円(国・補助金10/10)

#### くらし応援チケット配布事業

3億6278万円

食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者を支援するため、市民に対し、デジタル地域通貨ポイント(みやま・コイン)を支給し、デジタル地域通貨にて給付することにより、市内事業者の支援にも繋がるものです。

- 対象者 令和8年1月1日現在、みやま市の住民  
基本台帳に登録のある全市民 約3万3800人  
(令和8年1月2日から3月31日までの出生者含む)
- 応援内容 1人あたり1万円相当のデジタル地域通貨ポイントをデジタルまたはカード型にて
- 使用可能期間 デジタル型 令和8年3月1日～  
カード型 令和8年3月19日～  
令和8年8月31日
- 予算額合計 3億6278万円  
(国・重点支援地方交付金10/10)



※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



ここが聞きたい！

# 一般質問



## 一般質問って…？

市議会議員が市長等に対し、市の行財政全般にわたる事務の執行状況や、将来に対する方針等についての考えを問い、報告や説明を求めたり、不明な点を聞いたいたり、政策的提言等を行うものです。

一般質問は、定例会だけに許されているもので、みやま市議会では、質問内容を事前に議長に文書で知らせる「通告制」をとっています。

当市議会では申し合わせで、質問時間は答弁時間を含めて1人60分と決めています。

また、当市議会には会派がないため、会派を代表して行う「代表質問」は行われていません。

企業との共存共栄による  
まちづくりを  
答弁／ぜひ、研究して取り  
組みたい



前原武美 議員



**問** 今のみやま市は、過疎指定市町村であり、令和8年度過疎対策事業で計上されている事業費18億円と国から7割の財政支援を受け、まちづくりと市民サービスに努めている。しかし、この制度は時限立法で、令和13年で終了する。

そうならば、財政支援事業が無くなり、残り3割の事業費返済のみが残り、大変な財政危機に陥ると思われるが。

**答** 自主財源率が低い本市においては、国・県・地方債へ依存しており、厳しい財政状況が続いている。

**問** そこで、国が推奨している財政支出を抑制する対策として、本来行政が行うことを企業の参入、共存共栄による「PFI事業」と「社会貢献事業」のまちづくりである。このことは、民間活力を活かし、企業が持つ技術やノウハウを行政活

用することで、財源支出抑制になり住民の多様なニーズに対応し、より市民サービス提供が可能となる。また、企業による社会貢献事業として、子育て館など自主建設運営を展開されることでまちづくりに貢献される事業である。

このような、企業との共存共栄による財源安定化・地域活性化を図りまちづくりに取り組むべきでは。

**答** 「PFI事業」などで民間活力導入にて財政支出を削減できるように研究して取り組む。

※「PFI事業」：行政に変わり、民間企業が学校や公共施設建設・運営を行う。



PFI事業での産業団地や分譲地誘致活動でまちづくりを

ふるさと納税の向上を  
答弁／新たな取組で寄附獲得に努める



吉原政宏 議員



**問** 本市のふるさと納税寄附額は、近隣市町の中で最も低い状況である。向上させる取組は。

**答** 令和7年度は返礼品を約70品目追加し、総数を約530品目とした。また、新たなポータルサイトの追加やインスタグラムでの情報発信、「みやまン・コイン」の活用などで寄附獲得に努める。

**問** 企業版ふるさと納税獲得に向けた市長のトップセールスの状況は。

**答** 令和7年度は企業を3件訪問し、1件から寄附を受けた。今後は訪問可能企業をリストアップし、市長を先頭に、寄附獲得のため訪問活動を行う。

**問** 令和9年度中に開設予定のワンヘルスセンターを本市の活性化につなげるビジョンなど具体

的な経済効果も含め、分かりやすく市民への説明に努めるべきではないか。

**答** センターは、研究者や技術者など多くの職員の勤務地となり、市民の雇用創出にもつながる。さらに、体験学習研究ゾーンでの観光・交流人口の増加による経済効果を生み出していく。また、センター周辺に産業関連・交流促進施設の立地を誘導していく。現在、センター活用のロードマップを策定中で完成次第示していく。



みやま市の魅力が詰まった「ふるさと納税」

## 「卑弥呼の里」に支援を

答弁／JAとの協議を見守り、対応を考える



森弘子 議員



**問** 卑弥呼の里の有効活用に向けては、

**答** 地域農業の活力源として、また、消費者と生産者を直接結び、食を提供する交流の場としても機能している。

**問** セロリがテレビで取り上げられたり、食卓に上るようになったのは、卑弥呼の里の力があつたからではないか。

**答** セロリの売上と生産者数は、

**答** 販売金額は、令和6年産実績として8億8300万円で、生産者は令和7年度現在28人である。

**問** セロリのPR事業として、市から斡旋したものは、

**答** イベントとして、県庁ロビーや西鉄福岡駅での販売、またJR九州と連携し、セロリの収穫体験を行っている。

**問** 近くにスーパーなどがないため、もし閉まったとすれば、買い物難民が出てくると思われるが、

**答** 買い物に行く店が閉まってきた、貴重な買い物をする場所である。大事に守っていかなければならない。

**問** 命を繋ぐ市民の買い物場所、食と農を結ぶ努力を自力で重ねてこられた卑弥呼の里に対し、JAだけに任せるのではなく、卑弥呼の里の歴史を十分認識いただき、道の駅みやまと共存共栄できるように強力なテコ入れをお願いしたいが、

**答** 経過を見守り、対応について考えていく。



直売所「卑弥呼の里」

施政方針に沿った施策が行われているか  
答弁／変わらず進めている



三小田智裕 議員



**問** 安心安全のまちづくりという

**答** LED型防犯灯の新規設置や取替の費用について、1基あたり上限2万円を補助しており、計180基の補助申請を受け付けており補助を行っている。

**問** 通学路を含め、交通安全対策はどのように行っているか。

**答** 緊急性の高い箇所から優先順位を定め、グリーンベルトの設置等15か所の整備を行っており、これらの取組により利用者の安全性が向上していると認識している。

**問** 商工業の振興について、具体的にどのような取組を行っているのか。

**答** 商工会と連携し、空き店

舗を活用したチャレンジショップ事業を実施しており、各団体と協働し、各種イベントを行い多くの誘客を生んでいる。

**問** 施政方針には計画的な土地利用推進とあるが、ワンヘルスセンター周辺は土地の有効活用の動きが未だ何も見えないが、

**答** これまで取り組んで一番に感じているのは農地転用の問題であり、困難であるが少しずつ進んでいるという事を理解していただきたい。



建設予定地 (IC西側)

## 待ち時間の縮減を

## 答弁／利用環境の確保に努める



中尾眞智子 議員



**問** みやまつくすトレーニングルームの人気は高く、朝10時には多いときは20人前後が並ぶ。マシンは13台で、最初の13人の利用が終わるまで、次の人は2時間ほど待つことになる。利用時間を縮め、利用者を増やす対策が必要では。

**答** 個人に応じたトレーニング時間や、指導員による相談やアドバイスなど適切な時間との評価だ。空きスペースでのストレッチや運動機器の使用時間短縮、整理券導入など、委託事業者との協議を重ね、環境の確保に努めている。

**問** ルフランは生ごみやし尿などを運び入れる環境施設で、環境法を守る義務がある。そこは、高速シャッターや施設内の気圧を変えるなど、臭い漏れ対策を講じている。シャッターや窓、ドア

など開け放しで2か月以上も業務を続けたことは、法律違反だ。処分の必要性は。

**答** 仕様書では、設備に関する重大な故障等は、速やかに報告するように定めており、その点は厳しく指導している。

**問** 市職員が2か月もの間、シャッター解放に気づかなかつたのは、悪臭防止法の理解の欠如だ。具体的な再発防止策は。

**答** 定期的な会議の場を設け連絡を密にし、再発防止に努める。



人気のトレーニングルーム

## 企業誘致の今後は

## 答弁／更なる誘致を促す



奥園由美子 議員



**問** 企業誘致の現状は。

**答** みやま柳川インターチェンジ北地区産業団地は、昨年7月に「ヤマエグループホールディングス株式会社」へ土地の引き渡し完了。2027年9月から操業開始予定。

西地区産業団地は、自動車用内装材を製造する「株式会社フコク」を立地企業として決定。2026年度には測量調査や埋蔵文化財発掘調査等を実施する。し尿処理場跡地は、竹を無償で伐採し、その竹を原料に、農作物肥料や畜産物飼料を製造する「大和フロンティア株式会社」による跡地活用が決定した。

**問** 創業塾と地域おこし協力隊の累計人数と、その内、市内で起業した人数は。

**答** 創業塾の平成28年度から令和6年度までの受講者数は、累

計で112名。その内、42名が市内で起業。地域おこし協力隊は、これまで20名が着任し、その内、3名が市内で起業している。

**問** 小規模事業者への優遇制度の拡充をすべきでは。

**答** 平成28年度から令和6年度までに、移住定住起業支援補助金を活用し、32名が起業している。今後、同補助金の移住要件を見直す検討を進める。

**起業する人への補助** (移住定住起業支援補助金)

[補助内容] 開業資金に対する補助  
※ご利用には要件があります。詳細はお問合せください。

最大額	100万円
基本額	20万円

※補助対象経費の2分の1を乗じた額

[補助制度]のお問合せ  
商工観光課：0944-64-1523

チャレンジできるまち みやま市へ

## 産業建設常任委員会

### 〔定例会報告〕

3月10日に委員会および  
予算審査分科会を開催しま  
した。

委員会では、付託された  
議案4件等について審査しま  
した。

議案「みやま市宿泊施設  
の誘致に関する条例の一部を  
改正する条例の制定につい  
て」は、宿泊施設の設置事  
業者に対する指定要件の緩和  
等を行い、市内における  
宿泊施設の誘致を促進する  
ため、所要の改正を行うも  
のです。改正の内容は、指  
定要件の緩和および奨励措  
置の拡充が主なものです。  
指定要件につきましては、  
現行に規定する指定区域を  
削除し、宿泊施設の誘致を  
促進する区域を、市内全域  
へ拡張しています。併せて、  
宿泊施設の多様な運営形態  
を鑑みて、市民5人以上の  
新規雇用に係る規定を削除  
しています。



その他「みやま市営住宅  
条例及びみやま市定住促進  
住宅の設置及び管理に関す  
る条例の一部を改正する条例  
の制定について」などのい  
ずれの議案も、慎重審査の結  
果、原案のとおり可決すべき  
ものと決しました。

また予算審査分科会では、  
令和8年度一般会計、水道  
事業会計、下水道事業会計  
の予算について所管の質疑を  
行い、審査しました。

## 総務常任委員会

### 〔定例会報告〕

3月11日に委員会および  
予算審査分科会を開催しま  
した。

委員会では、付託された  
議案7件について審査しまし  
た。

主なものとして、議案「み  
やま市部設置条例の一部を  
改正する条例の制定につい  
て」は、窓口サービスの利  
便性向上および効率化を図  
るワンストップ窓口の更なる  
推進のため、現在、保健福  
祉部に設置している健康づ  
くり課を市民部に移管し、  
保健福祉部の名称を介護福  
祉部に変更するものです。  
議案「みやま市公共施設  
等整備基金条例の制定につ  
いて」は、公共施設の整備  
等に要する経費に充てるこ  
とを目的とする基金を設置  
するため、条例を制定する  
ものです。  
慎重審査の結果、いずれ  
も原案のとおり可決すべきも  
のと決しました。



うきは市での視察

また予算審査分科会では、  
令和8年度一般会計予算、  
国民健康保険事業特別会計  
予算について所管の審査を行  
いました。

### 〔行政視察報告〕

1月30日に視察研修を行  
いました。

#### ●福岡県うきは市 「廃校活用について」

「泊まれる学び舎&ジビエ  
BBQひみつ基地小塩」を  
視察しました。様々な課題  
があり、本市でも小学校跡  
地活用については、慎重な  
検討が必要だと感じました。

## 文教厚生常任委員会

### 〔定例会報告〕

3月12日に委員会および予算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案3件について審査しました。

議案「みやま市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、閉校となる東山中学校の体育館および運動場を「みやま市東山体育館」および「みやま市東山運動場」として追加するものです。

議案「みやま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について」は、国家戦略特別区域に限り認められていた「地域限定保育士制度」が一般制度化されたため、福岡県においても、制度の活用が可能となりました。

議案「みやま市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」は、ことも誰でも通園制度が創設されたことから、「特定乳児等通園支援事業」の運営に関する事業

者の要件を明確化することで、制度の適正な実施と利用者の保護を図るものです。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

予算審査分科会では、令和8年度一般会計ほか3特別会計予算について所管の質疑と指摘事項の取りまとめをしました。



### 〔行政視察報告〕

2月12日から13日まで視察研修を行いました。

#### ●福岡県宗像市

〔全天候型子ども広場「Mu-Mo」〕  
宗像市では、天候に左右されずに遊べる屋内の遊び場や、保護者同士の交流の場を求める声があり、「Mu-Mo」は、天候に関わらず子育て世代がゆつくりと時間を過ごせる場所となっており、本市でも、安心して子どもが遊べる施設の整備が必要であると感じました。



全天候型子ども広場「Mu-Mo」

#### ●山口県下関市

〔下関次世代育成支援拠点施設「ふくふく子ども館」〕

「ふくふく子ども館」は、未就学児と保護者を対象とした室内のプレイランドや、交流スペースを運営されており、子育て支援の拠点として、JR下関駅前の利便性を生かした高い集客力と世代間交流・相談機能を備えていると感じました。



「ふくふく子ども館」

## 議会報編集特別委員会



波佐見町議会での視察

●長崎県波佐見町議会  
議会だよりを保存しやすいように右綴じから左綴じに変えたり、一般質問の中で言えなかつた議員の気持ちを伝えるため「つぶやき」のコーナーを設けたり、工夫されています。また、表紙には波佐見高校美術・工芸科の生徒の作品を紹介しており、インパクトのある表紙でした。

### 〔行政視察報告〕

2月5日から6日まで視察研修を行いました。

### ●福岡県福津市議会

表紙を雑誌風に変え、議会だよりとは思えない表紙で、手に取っていただけたような斬新な表紙でした。裏表紙のマンガも目を引き、読んでもらえるような記事の作り方は見習いたいと思いました。



福津市議会での視察

一般質問の掲載について、波佐見町議会は各議員の町民に対するアピールの場と考え、1人につき1ページ、福津市議会は紙面構成を刷新し、1人275文字以内にしてあります。  
しっかりとした方針を持つことは大切なことであると感じました。

## 議会運営委員会

### 〔行政視察報告〕

1月26日から27日まで視察研修を行いました。

### ●鹿児島県 霧島市議会

霧島市議会では、定数26名中、毎回20名程が一般質問を行い、その質問や議案質疑をより効果的なものとするため、外部講師を招いて議員研修に取り組みられています。



霧島市議会での視察

また、「議員と語りかい」という市民との意見交換会を年4回開催し、そこで出された意見は、まず委員会による協議、次に委員会から議会全体へ提言、次に議会全体から執行部へ提言、そして反映状況のチェック、

というサイクルを踏まえ市民へ返答されます。

市民と議会の距離感を縮め、市政への関心を持ってもらうためにも有効な手段であり、本市でも参考にすべきものではないかと感じました。

### ●熊本県 玉名市議会

玉名市議会では、議案に対する質疑は全体会議で行わず、一般質問か付託された委員会で行われている点で、本市の議会運営との違いがありました。また、熊本地震を経験されたことから、タブレットの会議アプリを活用した災害オンライン訓練を実施されていることは、本市でも参考にすべきものではないかと感じました。



玉名市議会での視察

## 有明生活環境施設組合議会

2月16日、令和8年第1回定例会を開催し、3議案が上程されました。

## 1、福岡県市町村職員退職手当組合格約の変更等

地方自治法第290条の規定により、退職手当組合に加入する全ての団体の議会の議決が求められたものです。

## 2、令和7年度一般会計補正予算

今回の補正は、銀行の預金利率の上昇によって、当初の見込みより預金利子が多く生じたり、基金の積立財源としている売電収入が当初の見込みより多かつたことから、その上回った額も含めて、それぞれの基金に積み立てるために行うもので、歳入歳出それぞれ41万9千円を追加するものです。

## 3、新年度予算

令和8年度一般会計予算の総額は8億5466万4千円で、前年度比で1670万7千円の増額です。主な内訳として、火葬施設「有峰苑みやま柳川」の施設管理費が7672万5千円で、予算総額の約9%を占め、ごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」の施設管理費が7億1307万5千円で、予算総額の約83%を占める予算編成です。なお、令和8年度におけるみやま市の負担金は、火葬分2843万2千円、塵芥処理分1億8374万円となっております。

以上の3議案について、慎重審議の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 柳川みやま土木組合議会

令和8年第1回定例会を2月19日に開催し、令和8年度一般会計予算と福岡県市町村職員退職手当組合格約の変更についての2件が提案されました。

令和8年度予算は健全な財政の確保に留意し、限られた財源の有効活用、両市の要望などを踏まえた予算が編成されています。

一般会計予算の歳入歳出総額が3億6150万円で、対前年度比5280万円の減額で、減額の主な要因は、工事請負費の減によるものです。歳入でのみやま市一般分担金は、4953万2千円で、特別負担金は1762万5千円です。

歳出の主なもの、農林水産事業費の3億1785万円で一般修繕工事は、みやま市内の山門地区と浜田地区の捲揚機・防護柵取替、補助工事は遠隔操作装置設置、捲揚機取替、電源切替、防護柵設置が文廣地区、小川地区、河内地区、東津留地区で予定されています。

福岡県市町村職員退職手当組合格約の変更は、加入団体の減少や名称変更で、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもので、慎重審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

## 【視察】

1月14日、久留米市の筑後大堰管理所および熊本県小国町の下笠ダムしもがさ管理支所を視察しました。



筑後大堰管理所での視察

## 表紙のひと

みやま市出身映画監督 おだ のりかず 小田 憲和さん

みやま市山川町出身。九州大学在学中より映画制作を開始し、制作当初より、短編を中心に数多くの映画祭で入選・公式上映。みやま市を舞台に撮影された『笑いのソネット』のクライマックスシーンでは、市民エキストラ150人が参加した。

### みやま市での思い出はありますか

同じ地区の友達と原町の公民館でカードゲームや野球をしていたのは小学校時代のいい思い出です。原町全体を使って、警道口などをして遊んだりもしました。

### みやま市の子どもたちに伝えたいことは

やりたいこと、好きなことを見つけてください。それを全力でやって欲しい。

### 映画に込めた想いを教えてください

一緒に暮らしている家族のことを、どれだけ分かっていたのだろうか？

同じ屋根の下にいても、心の中までは見えない。

でも、ふとした瞬間に「想像していた姿」とは違う一面を知ることがある。

そこにこそ、人の“生き様”や“つながり”があるのだと思います。

この映画は、そんな「見えていなかった人の想い」を少しずつ辿っていく物語です。

笑いとは何か。詩とは何か。

瞬間瞬間に、その場、その時の気持ちや想いは消えていく。

けれど、誰かの心に残れば、それはもう“形”になる。この作品自身が、そんな誰かの心に残って欲しい。それは思っただけでなく、その場所も。

『笑いのソネット』というタイトルには、“消える笑いを、詩のように残したい”という想いを込めました。見終わったあと、誰かを思い出したり、そつと連絡を取りたくなるような。

そんな映画にできたらと思っています。

どうかこの作品が、みやまの風に乗って、あなたの心にも届きますように。



今では、筑後市の誇るべき施設になりましたが、これからも市の発展にも寄与する施設、取り組みになるよう、問題はまだまだたくさんありますが、取り組んでいくと宣言されました。



令和8年2月10日、筑後六市議会（大牟田市・柳川市・大川市・八女市・筑後市・みやま市）議員研修会に参加しました。

今年の開催地は、筑後市で、「福岡ソフトバンクホークスとの連携について」と題して、講師は、筑後市長の西田 正治氏と筑後市商工観光課ホークスファーム連携推進担当係長の水田 進氏でした。

研修会では、西田市長が、市役所職員時代に関わったソフトバンクホークスのファーム本拠地誘致までの道のりをお話いただきました。

## 筑後六市議会 議員研修会に参加

# 聞かせて! あなたの夢



瀬高小学校 6年  
せくち けいた  
瀬口 敬太さん

## 将来の夢

僕の将来の夢は、テレビ番組を編集する映像編集者になることです。映像を繋ぎ合わせたり、場面にぴったりのテロップを入れたりして、番組をもっと面白く、感動するようにする仕事です。

同じ映像でも編集次第で笑えたり感動したりできるところがすごいと思いました。いつか自分が編集した映像でたくさんの人に笑顔や感動を与えたいです。そのために今はノートパソコンで編集の練習をして、どうしたら伝えたいことや思いを映像にのせられるかを勉強しています。



みやま市マスコットキャラクター  
くっぴー

**編集委員**  
委員長 古賀 義教  
副委員長 森 弘子  
委員 諸富 正也  
委員 三小田智裕  
委員 黒田 清隆  
委員 河野 一仁

《次回定例会》  
6月16日(火)  
からの予定です。



インターネットで  
中継・録画を配信  
市ホームページ「みやま市議会」のインターネット中継からご覧ください。

## 編集後記

風薫る5月、爽やかな青葉が眩しい季節を迎えました。

「こどもの日」は、日本における国民の祝日のひとつで、「端午の節句」である毎年5月5日と定められています。

「端午の節句」は男の子の健やかな成長と健康、将来の出世を願う日本の伝統行事です。別名「菖蒲の節句」とも呼ばれ、鯉のぼりや五月人形を飾り、菖蒲湯に入る風習があります。

最近の鯉のぼりは、少子化による需要減少、住宅環境の変化(マンション増加)、個人情報保護の意識向上により、庭に大きな鯉のぼりを掲げる文化が急減しており、「絶滅危惧種」と表現されるほど姿を見かけなくなっています。

みやま市は、急速な少子高齢化と人口減少に直面しています。みやま市の様々な課題解決に向け、初夏の日差しに負けぬよう、議員一同邁進してまいります。

編集委員 諸富 正也

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>